

住所	東京都足立区
経営耕地面積	0.52ha
営農類型	露地野菜 + 施設野菜
農業経営改善計画の認定	H17
総販売額(農業所得)	1,200万円(350万円)
労働力 家族 常時雇用	4人 2人
主要施設・機械	
農機具倉庫、作業場	170m <sup>2</sup>
ビニールハウス(パイプ)	1,838m <sup>2</sup> (14棟)
鉄骨ハウス	648m <sup>2</sup> (1棟)
管理機	3台

## ◆現在の経営に至るまでの経緯

平成13年に就農したことを機に、「あさつき」の単品目経営から多品目経営(年間約40品目)に移行。販売面では市場出荷中心から、青果店との契約出荷を経て、直売所をほ場脇の駐車場に設置し、直接販売を始め、現在では売上げの2分の1を直接販売が占めるまでになっている。また、近隣のスーパーに直接出荷するなど販売先の多様化を図り経営の安定化を目指している。就農後、東京都主催の「フレッシュ&Uターンセミナー」で認定農業者制度を知り、農業経営の安定のためには新しい設備等が必要であり、そのためには認定農業者になることが有効と考え、17年に認定農業者となった。

## ◆経営改善に向けた特徴的な取組

都市農業のメリットとして、消費者の様々なニーズを把握しやすい環境にある。そこで、パソコンを営農に積極的に活用し、各品目毎の肥培管理などを一元的に管理することにより、直売所での販売時に生産履歴や使用農薬を説明するなどきめ細かい対応を行い、消費者からの信頼を確保している。また、消費者から多くの品目を扱って欲しいとの要望に応え、生産行程管理を詳細に行い、限られた面積で、多品目の確保を行っている。また、防虫ネット等を積極的に使用して農薬の使用量を軽減する栽培にも取り組んでいる。

## ◆経営上の課題及び今後の農業経営の方向

都市農業は、生産環境の悪化から農業を営むことは、かなり厳しい状況である。近隣住民の農業への理解が不可欠だと考え、農薬の散布、機械の作業音など、気を遣って作業するため、人手が必要となっている。このため、足立区が行っている農業ボランティアを有効的に活用すること等で解決している。厳しい環境の下での規模拡大は、地価の高さや農地を集積できないなど限界があることから、利益率を確保できるような品目の追加や年間栽培回転数を上げていくなどの経営努力を進めていきたい。